

研究班番号【 28 】
～音を”感じる”～「聞かない」音楽の楽しみ方

28班:藤 裕貴和

Abstract

I wondered how people with hearing impairments enjoy music ,and I tried to search for some ways to share music with others.I attempted to conduct a survey on students,instructors and parents of hearing aid schools in Osaka Prefecture and find effective ways to share music with others.

要約

聴覚障がい者の方にも音楽を楽しめる方法について疑問をもち、聴覚障がい者が他者と音楽を共有する方法を探ろうと考えた。本研究は、大阪府内の聴覚支援学校の生徒及び先生方、保護者の方々を対象にアンケート調査をとることで、聴覚障がい者における他者と音楽を共有する有効な方法を見出そうとするものである。

1. はじめに

研究動機は耳が聞こえないまたは聞こえにくい人、いわゆる聴覚障がい者（以降聴覚障がい者と記す）の方々は音楽を楽しむことができるのか、疑問に思ったことだった。本研究は、聴覚障がい者の音楽に対する感じ方を分析し、聴覚障がい者にとって、他者と音楽を共有する、最適な方法を探るものである。また本論文では、聞こえ方によって日常生活に不安がない人を「聴者」とする。

2. 研究手法

はじめに仮説を立て、その仮説に基づいて聴覚障がい者の方々にアンケートをとる。

仮説:「聴覚障がい者の方々には音楽の振動を感じ取ることで音楽を楽しむという選択肢がある」[本研究において「音楽を楽しむ」とは他者と音楽を共有することを指す]

アンケート対象:

大阪府立生野聴覚支援学校
大阪府立だいせん聴覚高等支援学校
大阪府立中央聴覚支援学校
大阪府立堺聴覚支援学校
の生徒、先生、保護者様全28名

質問内容(概要)全8つ:

1. 所属は何学部か
2. 右耳及び左耳はそれぞれ何デシベル聞こえているか(裸耳の場合)
3. 人工内耳や補聴器等、聞こえをサポートする器具は使用しているか
4. 学校では支援学校独自の内容で音楽の授業を実施しているか
5. *上記質問がはいの場合
内容の具体例
6. 一つの音楽について以下のようなこと(後述)を聴者とともに行ったことがあるか
*複数回答可
7. 一つの音楽について以下のようなこと(後述)を聴覚障がい者同士で行ったことがあるか
*複数回答可
8. 仮説:「聴覚障がい者の方々には音楽の振動を感じ取ることで音楽を楽しむという選択肢がある」
この仮説に対する意見

質問6、7の質問内容について

- ①ダンス鑑賞
- ②ダンス実演
- ③歌唱
- ④手話歌
- ⑤手拍子真似遊び
- ⑥歌詞
- ⑦アニメーション
- ⑧実写映像視聴
- ⑨実写映像撮影
- ⑩映画視聴
- ⑪映画撮影
- ⑫演劇(ミュージカル、オペラ、能、狂言など)視聴
- ⑬演劇(ミュージカル、オペラ、能、狂言など)実演
- ⑭ライブパフォーマンス
- ⑮振動
- ⑯嗅覚
- ⑰味覚
- ⑱拝聴

次に、アンケート結果を分析する。分析の観点としては

1. 年齢と音楽を共有する方法との関連性
2. 左右の耳の聞こえ方と音楽を共有する方法との関連性
3. サポート器具の有無と音楽を共有する方法との関連性
4. 聴覚障害者が音楽を共有しやすいツールとはなにか

といったものに絞る。観点4を考えるにあたり、上記6、7の質問内容を①④⑥⑦⑧⑩⑫⑭を視覚情報関連、②③⑤⑧⑪⑬を実演関連、⑮を振動関連、⑯⑰⑱をその他としてカテゴライズする。

3. 結果

質問1:小学生4名、中学生12名、高校生4名、教員5名、無回答1名

質問2:11名が回答/15名が回答なし。

質問3補聴器使用21名、人工内耳使用1名、補聴器・人工内耳使用8名、使用していない・回答なし4名

質問4:やっている21名/やっていない・回答なし5名

質問5:具体的回答があった人数13名/わからない・回答なし13名

質問6:振動:8名、視覚情報関連:25名、実演関連:23名、その他:11名

質問7:振動:6人名、視覚情報関連:26名、実演関連:19名、その他:9名

質問8:19名回答/17名回答なし

*質問6、7、8は下表参照

	所属	聴者との共有	聴覚障害との共有	仮説
1	高等部	演劇実演	手話歌、歌詞、アニメーション、映画視聴、演劇実演	
2		ダンス(実演)、歌唱、歌詞	ダンス(鑑賞)(実演)、手話歌	

3	教員	ダンス(実演)(鑑賞)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、映画撮影、演劇視聴、演劇実演、ライブパフォーマンス、振動、嗅覚、味覚、拝聴	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、映画撮影、演劇(ミュージカル、オペラ、能、狂言など)視聴、演劇(ミュージカル、オペラ、能、狂言など)実演、ライブパフォーマンス、振動、嗅覚、味覚、拝聴	聴覚障がい云々の前に音楽が好きかどうか？または音楽のなかのどのジャンルが好きなのか？好み の問題もあるので、楽しむかどうかは別問題だと思います。自分の興味のないことにはチャレンジしにくいというくらいです。なので、賛成、反対ともい いかねます。楽しければOKじゃないですか！賛 成・反対にこだわらずにまずはトライ・チャレンジを してみて楽しいかどうかを判断することも大切です よ～ カラオケに聴者と行くかどうか？というようなピンポ イントを決めてそこをテーマにしたほうが研究しや すいかと思いますよ。
4	高等部	ダンス(鑑賞)(実演)、手拍子まね遊び、アニメーション、映画視聴、演劇視聴	手話歌、手拍子真似遊び、映画視聴、演劇視聴	賛成
5	教員	ダンス(鑑賞)、手話歌、映画視聴、振動	ダンス(鑑賞)、手話歌、動画視聴、振動	音の強弱による振動で楽しむ他、光点滅、(音声日本語による歌や一般的な手話歌とは異なる)手話のリズム・韻律を見て楽しむ選択肢もあります。
6	教員	ダンス(鑑賞)、歌唱、手話歌、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、映画視聴、映画撮影、ライブパフォーマンス、振動	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、歌詞、実写映像視聴、映画視聴、映画撮影	
7	中学部	ダンス(鑑賞)、(実演)、手話歌、手拍子まね遊び、映画視聴	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び	わからない
8	中学部	ダンス(鑑賞)、映画視聴	映画視聴	
9	中学部	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、映画視聴、ライブパフォーマンス、振動、嗅覚、味覚、拝聴	ダンス(鑑賞)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、映画視聴、ライブパフォーマンス、振動、嗅覚、味覚、拝聴	賛成
10	中学	ダンス(鑑賞)(実演)、実写映像視聴、	映画視聴	賛成

	部	映画視聴		
11	中学部		映画視聴	賛成
12	中学部	歌唱、手話歌	歌唱、手話歌	賛成
13	中学部	歌唱、歌詞、アニメーション、実写映像撮影、映画視聴、演劇視聴	歌唱、映画視聴	賛成
14	中学部	歌詞、アニメーション、映画視聴、演劇視聴、振動	歌詞、アニメーション、映画視聴、演劇視聴、振動	
15	高等部	手話歌、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、映画撮影、ライブパフォーマンス	手話歌、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、映画撮影	障がいの程度は人それぞれなので何とも言えませんが、振動で楽しむことができる太鼓が聾教育でよく使われているのもそれが理由です。ただ、聴覚に障がいがあっても振動以外で音楽を楽しむ人はいっぱいいます。ギターを趣味としている人も聞いたことがあります。 私自身もYoutubeなどで音楽を聴くこともあります。ただ、楽しむためには歌詞付きがよく、歌詞がなければリズムだけになり、音楽の楽しみも半減するように思えます。さらに言うと、ライブの動画で歌っている人の口が見えると、歌をより楽しむことができます。 歌詞の文字とリズムをミックスさせた世界を楽しむのも一つの方法ではないかと考えています。
16	小学部	ダンス(鑑賞)(実演)、アニメーション、映画視聴	ダンス(実演)、映画視聴	
17	小学部	ダンス(鑑賞)(実演)、手拍子真似遊び、映画視聴	ダンス(鑑賞)(実演)、手拍子真似遊び	振動だけでなく、視覚も取り入れ、おんがくを楽しむ

18	小学部	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、実写映像視聴、映画視聴、演劇視聴、ライブパフォーマンス	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、実写映像視聴、映画視聴、演劇視聴	この回答は、小学部の子ども本人ではなく、保護者である親が回答しています。 仮説については賛成ですが、聴覚障害も聴力や聞こえ方が様々で、高音のみ聴こえる方、低音のみ聴こえる方、聞こえているけれど歪んで聴こえる方がいるので、全く聴こえない方にとっては、振動で楽しむ選択肢があるとは思いますが、それ以外の方の選択肢の一つになるのかな?と疑問に思います。 どの振動が音で、どの振動が音ではない振動なのかの判断も難しいのではないかと思います。 ですが、振動があることで、太鼓の音の終わりを判断したり、音と音の間隔を測ったりしている様子も見られます アーティストのライブ会場では、音楽や声が混ざってしまって、何の歌かはわからないが、映像と演出(ライトなどの光)をよく見て楽しんでいました。
19	小学部	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、実写映像視聴、映画視聴、演劇視聴、ライブパフォーマンス	ダンス(鑑賞)、手話歌、実写映像視聴、映画視聴、演劇視聴、ライブパフォーマンス	
20		ダンス(鑑賞)手話歌、手拍子真似遊び、アニメーション、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、演劇視聴、ライブパフォーマンス、振動、味覚、拝聴	ダンス(鑑賞)(実演)、手話歌、手拍子真似遊び、実写映像視聴、演劇視聴	振動を感じて音を感じやすくてできますが、うちの子どもの場合、太鼓(リズムのみ)は振動を感じすぎたり、ハーモニーを感じにくく凄く苦手(音楽の個別練習もうるさくて苦手)。クラシック(1曲40分)くらいのコンサートによくいく、オペラも好き。ピアノもバイエル終了程度レベルぐらいは弾ける(和音をききわけられる)が小さい頃好きだった太鼓、ドラム音が苦手
21	中学部	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、映画撮影、演劇視聴	ダンス(実演)、歌唱、手話歌、歌詞	
22	中学部	ダンス(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、演劇視聴、振動、嗅覚、味覚、拝聴	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、演劇視聴、振動、嗅覚、味覚、拝聴	人それぞれだと思いますが、私の場合では...音楽を聴くことが大好きで歌うことも大好きなので、振動も感じ取りますが耳も聞き取っています。(私の場合では聞き取る事が多いかも?) 振動は、やはりリズムを感じ取るために振動を感じ取る事が多いかもしれません。 聾者は多分無意識でしているのであんまりよく分からないですが。 振動を感じ取り、リズムを覚えたら歌詞も分かって

				きて音楽の良さが伝わるので大好きです。音楽って良いですね。
23	中学部	ダンス(鑑賞)、手話歌、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、映画視聴	手話歌、演劇視聴	振動ありますけど耳は補聴器につけてどんな音なのか分かりませんが聞こえて楽しめます
24	教員	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子まね遊び、歌詞、振動	ダンス(鑑賞)(実演)、手話歌、手拍子真似遊び、映画撮影、振動	音楽の振動を感じることは難しいときもあるので、視覚的にわかる音楽(太鼓や手話歌など)を楽しんでいます。
25	教員	ダンス(鑑賞)(実演)、歌唱、手話歌、手拍子真似遊び、歌詞、アニメーション、実写映像視聴、映画視聴、映画撮影、演劇視聴、演劇実演	ダンス(実演)、歌唱、手話歌、実写映像視聴、実写映像撮影、映画視聴、演劇視聴、演劇実演、ライブパフォーマンス、和太鼓	賛成 聴覚障がい者はいろいろな意見があり、音楽を楽しめる人、楽しめないという人といった感じでそれぞれ分かれています。それは音楽に対する環境、モチベーションなどにかかわっていると思います。私は和太鼓に親しみ振動を感じることで音楽を楽しんでいたのは30年前から変わらないことです。ただ、それ以外歌唱やダンスなどはあまり楽しめなかったです。
26	中学部	ダンス(鑑賞)(実演)、手話歌	ダンス(鑑賞)(実演)	リズムをとるには振動を頼りにしていますが、僕は音楽は所々しかわからず、映像と共に覚えています。

4. 考察

質問1～8の結果を整理、比較して分析したところ、分析の観点1～3は立証されなかった。そう判断した理由として、回答者の年齢、耳の聞こえ方及びサポート器具の使用人数に大きく偏りがあり、正確な相関性を見いだせなかったことが挙げられる。また、母数が少ないことも一因であると考えられる。

分析の観点4は、質問5、6、7の回答内容から、音楽を他者と共有するにあたり振動によってリズムをとったり、同じ音の強弱を感じたりすることによって、他者と音楽を共有することは可能であり、有用性があると考えられる。多くの音楽の授業に太鼓やピアノなどの打楽器が使用されること、振動によってリズムをとるといった意見があったことから、そのことは言えそうである。しかし質問6、7より視覚情報関連と実演関係が多いことがわかり、特に聴覚障がい者同士で音楽を共有する際には、視覚情報が大事にされる傾向が見える。また質問8より、歌であれば歌詞や指文字、ライブなどにおいては照明やパフォーマンスなどの視覚情報のほうが分かりやすいという意見もあったため、視覚情報が他者との音楽の共有に大いに役立つと言えそうである。

5. 結論

他者との音楽の共有には視覚情報を音楽に与えるのが有効である。また、振動が役立つ場合もあるので、その2つを連動させるといいかもしれない。今後はアンケート対象の母数を増やし、選択肢のカテゴリ分けを細かくすることでより正確な結果を出したい。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

- ・聞こえのお助け隊 津田美智代 『難聴になると音楽はどうなる？補聴器でも曲を楽しむ方法』
<http://kikoe.ne.jp/choice/music.php> 参照日2024年9/3
- ・富士通『Antenna-髪のもで音を感じる新しいユーザーインターフェース』

<https://ontenna.jp/> 参照日 2024年9/11

•Pixie Dust Technologies,inc『SOUND HUG』

<https://pixiedusttech.com/ja/technologies/sound-hug> 参照日 2024年9/11